

Ⅱ 小学校外国語活動の授業づくり

1 指導計画の立て方

授業づくりの第1歩！指導計画を作成しましょう。

(1) 作成の前に

Q1：外国語活動の趣旨は理解できていますか？

新学習指導要領・外国語活動、研修ガイドブック等の活用

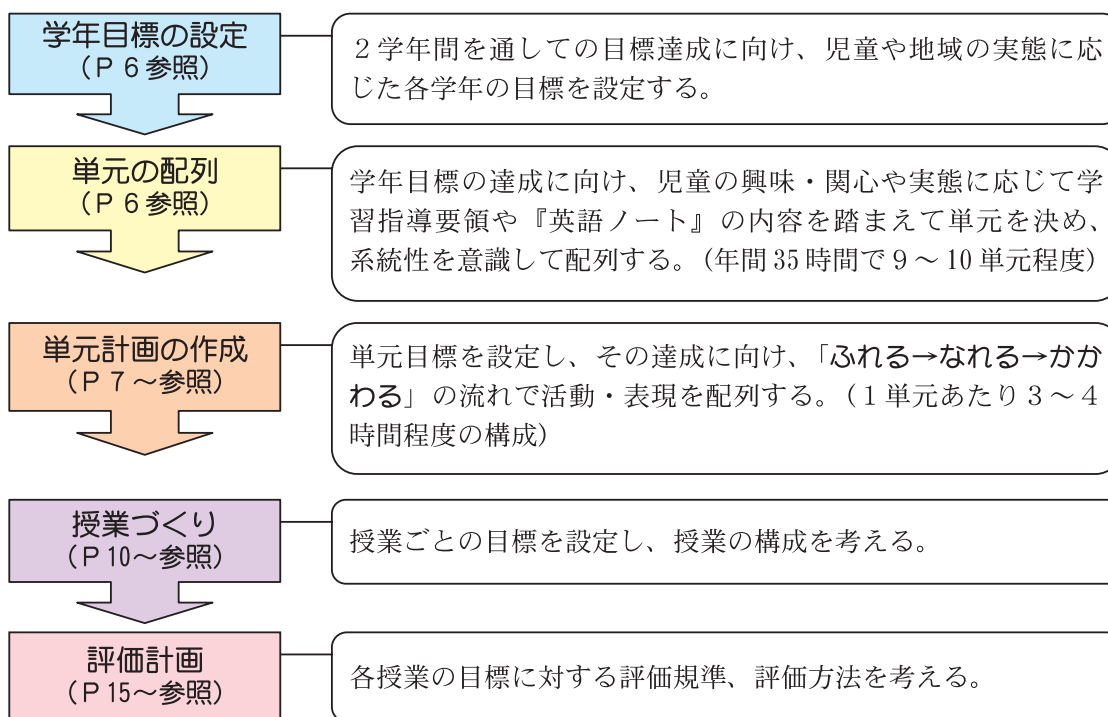
Q2：校内に推進体制はできていますか？

校長のリーダーシップのもと中核教員を中心に、学級担任まかせはNG！

Q3：環境整備は進んでいますか？

指導者の研修、教材・教具の整備、他学年・中学校との連携、ALT・講師の確保

(2) 作成のおおまかな流れ



〔複式学級の場合〕… 5年から始まる「家庭科」と同じ扱いで考えましょう。

(外国語活動は5・6年生で実施します)

◇指導方法としては、学年別指導と、A・B年度方式による単元指導が考えられます。単元指導の場合、

- ・同内容異程度指導 (同じ題材で、学年によって目標・内容の程度を変えて指導する方法)
- ・同内容同程度指導 (学年の区別無く、同じ題材で同程度の指導をする方法)
- ・内容によっては、1題材を2年間で学習。

などの方法を学校や児童の実態に応じて組み合わせ、2年間を通して目標の達成を図る年間指導計画を作成します。

◇中学年以下と高学年が、合同で外国語活動の授業を受ける場合は、高学年は「外国語活動」の授業とし、中学年以下はいわゆる「学校裁量」の授業とすることも可能です。また、学校教育法施行規則第55条の2に基づく教育課程特例校制度を活用し、特別の教育課程を編成する方法もあります。

(3) 学年目標・単元配列例

第5学年 外国語活動年間指導計画（35時間）

学年目標	日常生活や学校生活に関わる体験的な外国語活動を通して、世界の言語や文化の違いに気づき、身近で基本的な表現に慣れ親しみながら、友だちと積極的に関わろうとする態度を育成する。
------	---

*4・5・6月分は『英語ノート』参照

月	単元名	単元目標	指導内容				評価規準
			第1時	第2時	第3時	第4時	
4	世界の「こんにちは」を知ろう	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #0070c0; color: white;"> 学習指導要領の目標や「第3 指導計画の作成と内容の取扱い」の2-(2)を参考に、児童の日常のコミュニケーションや学習の状況等を考慮して、各学校で設定しましょう。(6年は5年の目標を踏まえ、発展的に) </div>					
		使用表現等					
5	ジェスチャーをしよう						
		使用表現等					
6	数で遊ぼう						
		使用表現等					
中略							
3	レストランへ行こう						
		使用表現等					

『英語ノート』によらない場合は、学習指導要領に例示されたコミュニケーションの場面や動きに配慮して、

- ・日常生活の場面を取り出し、そこで使われる表現を学習内容とする。
- ・人がコミュニケーションを図ろうとする目的を重視する。
- ・児童に課題やタスク（作業）を与え、児童がそれを解決、遂行する。
- ・他教科で学習する内容等を取り上げる。
- ・児童にとって興味・関心のある話題を取り上げる。

などの題材を混在させ、飽きることなく取り組めるよう配列しましょう。

(『小学校外国語活動研修ガイドブック』 P21～23 参照)